

第3回 宇部市新庁舎建設基本設計協議会 ～会議録～

日時	平成30年3月26日（月）14:00～15:40	
場所	宇部市役所2階 第3会議室	
出席者	【協議会委員】	内田会長、脇副会長、熊谷委員、曾我委員、古松委員、近藤委員 （欠席）安部委員、徳原委員、三浦委員
	【宇部市】	（都市整備部） 白石部長、坂本次長、小森次長 （まちなか再生推進課） 富田課長、上原主幹、三戸補佐、 深川係長、平岡主任、福重

1. 協議事項

(1) 基本設計（案）について【資料1・2・3】

【市】 別添資料に基づき説明

～質疑応答～（以下、要約）

①計画概要	
【会長】	ICTソリューションというのは一般市民には難しい。 分かりやすく噛み砕いて説明してもらえるとよい。
【市】	ソリューションとは「問題解決方法」。新庁舎を建設するために解決すべき 様々な課題について、ICTを活用することで解決していこうというもの。
【会長】	情報と課題の共有ができ、それぞれの課題が相互につながって効率的に解決 していくためにICTを使っていく。それが無駄のない作り方につながってい くということが市民に伝わるとよい。
②建築計画	
【会長】	立体駐車場と1期庁舎の間の通路については、歩いて来られる方と車の動線 がバッティングするのではないか。 立体駐車場の公用車は単独の入口か。
【市】	公用車も通常は立体駐車場と1期庁舎の間の通路から進入する。 なお、市道栄町線については、通路と1期庁舎の段差を少しでも解消するた め40cm程度高くする予定。
【会長】	配置計画に「右折レーンを設け、渋滞しにくい交通計画」とあるが、右折レ ーンを設けるために歩道が狭くなるということはないか。
【市】	正式な右折レーンではない。
【会長】	立体駐車場への出入口が北（東）側と南側に設けてあるが、この使い分けは。
【市】	北（東）側は、1期庁舎完成までは唯一の出入口となる。1期庁舎完成後は、 南側の出入口をメインに使う予定。 出入口を複数設けると中での事故の懸念がある。まだしっかりと検討ができ ていない状態だが、当面は出入口を1か所として運用した方がいいのではない

	かと考えている。片方から入って片方から出るといった方法など、運用しながら検討していきたい。
【会長】	立体駐車場の北(東)側だけを出入口にして、庁舎との間の通路は車を通さないという方法は考えられないか。
【市】	実施設計でも検討するが、確定申告の時期など、北側から右折で入ろうとする車が多く渋滞すると交差点までが短いため難しいと考えている。
【会長】	アプローチ計画の「来庁者・職員」の動線のうち、常盤通りからメインエントランスに向かって真上に伸ばしている直線は特に意図があるか。
【市】	歩道からメインエントランスに向けて舗装の色を変える等考えていきたい。
【副会長】	防災計画に記載された「液状化対策」についてはどのような考えか。
【市】	建物については、杭を支持層まで入れることで対応し、その他については実施設計で検討する。
【副会長】	2期庁舎の市民活動交流スペースが、災害時には「災害対策活動スペースに転換」とあるが、これは「災害対策本部」のことか。
【市】	災害対策本部については、1期庁舎の3階に設置する予定。 2期庁舎については、大規模な災害時に自衛隊など外部からの応援やボランティアの活動スペース等として活用することを想定している。 避難所としては考えていない。
【委員】	新庁舎が市の「へそ」「顔」となると考えたときにもう少し広がりが見える計画にならないか。 常盤通りや真締川公園等をどのように整備するかによって、周辺への波及効果が変わってくると思う。 このラインをどのように美しく整えていくかの計画があれば聞きたい。
【市】	常盤通り、真締川公園、市道栄町線及び県道宇部港線の整備については、平成30年度に予算確保し、基本設計を行っていく。 設計に当たっては、新庁舎の広場と一体的な検討、周辺商店街等に人をどう流していくかという検討を行っていきたい。 設計は業者に発注する。
【会長】	周辺の既存商店街や既存の通り等と庁舎をどういう風に結んでいくか、庁舎からどのように手を伸ばしていくかが重要。
【委員】	庁舎だけで留まってしまうのではなく、「歩きたい」という気持ちを動かすような仕掛けがほしい。
③構造計画	
【会長】	基礎の工法について、既製杭の深さはどの程度か。
【市】	赤い点線で示した「N値60以上の強固な地盤ライン」と推定古洞ラインとの距離が10m未満であれば古洞を貫通する深さまで、10m以上であれば赤い線を超える深さまでと場所によって異なる。
④電気設備計画、⑤機械設備計画	
【会長】	太陽光発電のパネルや太陽熱の採取はどこで行うのか。

【市】	太陽光発電、太陽熱集熱共に1期庁舎の屋上（6階）で計画している。
【副会長】	電析設備計画の映像音響設備について、「委員会室」とはどういう部屋か。また、2期庁舎の市民活動交流スペースについてはどうなるか。
【市】	「委員会室」とは、議会の委員会室である。 また、市民活動交流スペースについても、情報発信コーナー等があるため、映像音響設備については設置する予定である。
その他	
【副会長】	公文書の保管についての考え方を聞きたい。
【市】	新庁舎の書庫・倉庫は、基本的には1期庁舎5階を考えている。ICT化による文書削減が前提となるが、新庁舎のスペースは市民の利便性を第一に考え、必要な部署の配置を優先したいと考えているため、そのことにより全ての保存文書が入らない場合は庁外への保存についても検討が必要と考えている。
【副会長】	文書管理（保存年限）の考え方については、決まりがないとどんどん文書がたまってしまう。
【市】	文書管理については、市が定めた規定があるため、規定に基づき1年保存すべき文書、永年保存すべき文書等に分類して保存している。 今後考えていくべきことは、その保存の方法について、紙ベースでないといけないのか、電子文書での保存も可能なのかという部分の検討であり、できる限り紙ベースから電子文書での保存に転換していくことで、スペースの削減にもつながると考えている。
【委員】	青少年会館は、将来的に2期庁舎に統合されるのか。
【市】	全てを統合するのではなく、市内の公共施設に分散させて統合するということになろうかと思う。 例えばプラネタリウムを庁舎へ統合することは難しいと思うし、会議室等は他の公共施設で代替することも可能である。
【委員】	民間に払い下げる方が、市の人口増にもつながるし、メインの場所に建つマンション用地として不動産価値があがることも考えられる。 プラネタリウムに関しては、議会中以外に議場を解放するというなら、そこを利用することも考えられるのではないかと。
【市】	議場の利用については、議会とも調整しながら検討していきたい。
【会長】	窓口や相談室のあり方については、どう考えているか。
【市】	窓口のあり方については、庁内の部会を立ち上げ協議をしているところ。 相談スペースについても合わせて検討しており、実施設計で固めていきたい。
【会長】	執務室のレイアウトの方針については、協議検討した上での決定事項か。 A-06のユニバーサルレイアウト事例のイメージ写真がかなり古いタイプの机・椅子に見えるが。
【市】	フリーアドレスを見据えたグループアドレスについてもICT化と合わせて検討していく予定。 掲載した机・椅子の写真は決して古いタイプではなく、大型テーブルの下に

	<p>キヤスター付きの脇机を移動させて使う新しいタイプの什器であり、組織変更の際にも、机は動かさず、人だけが移動するというユニバーサルレイアウト対応の形になっている。</p>
【会長】	<p>I C T化が進んでも、各自の保管文書が急になくならないと思えない。</p> <p>とすれば、削減を達成するまでの間の文書や日常業務に必要な最低限の書類を保管する書庫は必要と思うが、書庫のレイアウト検討は必要ないか。</p>
【市】	<p>書庫については、壁際や窓口とのゾーン分け部分等に設置する予定。更に集密書架の活用等により、限られたスペースを効率的に活用するようなレイアウトを検討する。</p>
【会長】	<p>窓際に高い書庫を配置して、外観の見映えが悪くなるようなレイアウトにしないようにしてほしい。</p>
【委員】	<p>I C Tソリューションについては、どちらかという市職員側の業務効率化や庁舎管理上のエネルギー効率化の面しか見えてこない。</p> <p>I C Tソリューションを構築し、業務が効率化されることで、市民の側にどんなメリットがあるのかという説明がもっとあるとよい。</p>
【市】	<p>窓口業務の効率化や情報発信機能の向上により市民の利便性も上がると考えている。</p>
【委員】	<p>銀行の場合、待ち時間が長いことが一番の苦情の原因となる。それが I C T化によって改善されること等が具体的になるとよい。</p>
【会長】	<p>アプローチ計画は、施設外部の動線計画になっているが、施設内部の動線計画（こういう手続きの場合はこういう動線になるというような）があると思うが、まだそのしくみについては決まっていないということ。</p> <p>基本設計については、大きな方向付けだけで、細かい部分は実施設計での検討になると思うので、実施設計については、決まったことをできるだけオープンにしていけるとよい。</p>

(2) その他

【市】 基本設計のとりまとめについて、今後のスケジュールを説明

～資料3について一言ずつ～（以下、要約）

【委員】	<p>こんな感じの庁舎ができれば、今までと違う庁舎になってよいと思うが、せっかく魅力的な庁舎ができて、ここへのアクセスがどうなるかが気になる。バスで来た人がどうやって庁舎に入っていくかがわかりやすく表されているとよい。</p>
【委員】	<p>せっかく川べりに建っているのに、川との関係性をもっと表現できればよい。</p> <p>井筒屋や新天町との関係性が見えるようなデザインも希望。</p> <p>まち全体（新川駅～医大～井筒屋～琴芝駅）をつなぐ回廊ととらえたような大きなコンセプトの提案があったと思うが、それが空間で表現されていないように思う。</p> <p>簡単にできることではないことは重々承知しているが、建築で解決できる部分は建築で解決してほしい。</p>

【会長】	この絵から明るい未来を感じるか。
【委員】	水平ラインが強すぎる。あまりにもあっさりしすぎている印象。
【委員】	<p>ガラス張りが多くて、庁舎らしくない、ショッピングセンターのような印象。ある意味斬新だと思う。</p> <p>バスによるアクセスがあまりよくないと感じた。</p> <p>「常盤並木広場」については、並木広場という割に木が少ないように思う。</p> <p>開放的だとも言えるが、ガラス張りにしすぎると中がまる見えなので、それを市民がどう思うかが気になる。</p>
【委員】	<p>市の顔となる場所であるため、「宇部って、いい場所だね」と思ってもらえるようなものであってほしい。</p> <p>工業都市でありながら、緑に囲まれ、水辺に寄り添うようにたたずむ国立西洋美術館のような建物を個人的には期待していた。</p> <p>「活気にあふれたまち」を期待することは難しいと思うので、「お年寄りや数少ない子ども達が楽しくゆったりと過ごしているまち」「住んで、食べて、安心できるまち」を象徴するようなスペースであってほしい。ここに来れば、心おだやかに過ごせそうな空間づくりをしてほしい。</p> <p>ある程度合理的に考えられた結果の庁舎だと、肯定的にはとらえている。</p>
【副会長】	<p>ある市民の方に市役所が建つのに5年かかると言う「5年もかかるのか」とびっくりされていた。</p> <p>我々は、これまでの経緯を知っているため、当たり前になっているが、もっと市民に対して、これだけ無駄を省こうと検討した結果5年かかるということを繰り返し伝えていくことが大事だと思う。</p> <p>なお、このパースは、平日の日比谷公園ほどの賑わいが描かれているが、宇部でこんなに賑やかなことはありえないので、もう少し減らした方がよいのではないか。</p>
【会長】	宇部のへそとなる場所をどうやってつくっていくかということが今後も課題となる。